

# クレマチスの育て方～難しい? そうでもないと思います～

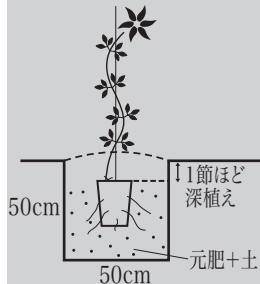
## 1 植えつけ、植え替え

### ★2～3年生苗を購入する

4.5号サイズ(鉢直径13.5cm)以上の2～3年生苗は初心者でも、安心して育てられます。すぐに庭植えや、大鉢への植え替えがOK!

### ★深植えします

株元の1～2節を地中に埋めるように深植えします。立ち枯れ病予防の効果と、株立ちを促します。



土、、、  
配合する場合は、  
赤玉土(小～中粒)4:鹿沼土(小～中粒)3:完熟腐葉土3  
市販の培養土でもOK。  
元肥に有機質系の固形肥料、または有機肥料を与えます。

鉢植えの場合、、、  
苗の鉢サイズよりも1～2回り大きい深鉢に植えつけます。  
(4.5号苗の場合、6～7号鉢へ)

### ★株元を半日陰に! 植え場所、置き場所、、、

半日以上日が当たり、風通しのよい場所に植えたり、置いたりしてください。  
鉢植えは直接雨に当たらない場所に置いてください。  
また、地温の上昇は株を弱らせます。葉には日光が当たり、株元には直射日光が当たりにくい環境を整えると、生育がよくなります。  
ただし、株元の植栽は、クレマチスを圧迫しすぎるものは避けます。

## 2 生長期(開花期)の手入れ

### 1. 芽出し前の肥料 ～動き出すための、エネルギーとして～

3月、芽が大きくなる前に、有機質系の固形肥料、もしくは有機肥料を与えます。

### 2. 水やり、つるの誘引、追肥、病害虫

#### 水やり

「鉢植え」は表土が乾いたら、たっぷり与えます。特に開花直前は多く欲しがります。「庭植え」は、夏の極度の乾燥時以外、基本的に必要ありません。

#### つるの誘引

フェンスなど平面的なものでは、S字を描くように、オベリスクなど立体的なものでは、らせんを描くように誘引します。

#### 追肥

3月の芽出し～11月頃まで、2ヶ月に1回、有機質系の固形肥料、または緩効性の化成肥料を与えます。

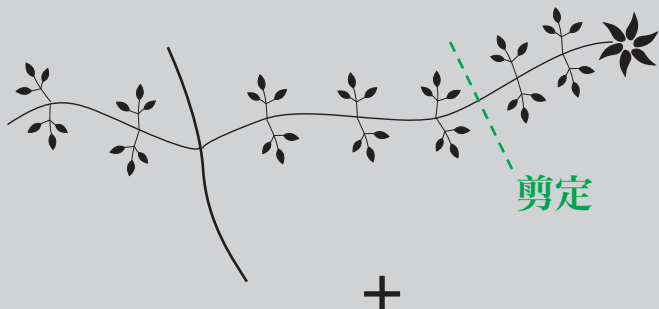
#### 病害虫

風通しをよくすることが予防策になります。梅雨時はうどんこ病などの病気や、害虫が発生しやすいので、ハンドスプレー形の手軽な薬剤などで適宜対処しましょう。

### 3. 開花、そして、花後の剪定と追肥

花後に剪定と追肥を行うと、再度花が楽しめます。

今年伸びた枝の半分の位置で剪定します。



次の生長・開花促進のために有機質系の固形肥料、または有機肥料

## 3 休眠期(落葉期)の手入れ

冬には枝だけになり、休眠します

### 鉢植えの置き場所

鉢植えは地温が上がりにくいので、北風の当たらない場所へ置きます。ただし、耐寒性のない品種以外は、室内に取り込む必要はありません。

### 水やり

鉢の表土が白っぽく乾いたら、暖かい日の日中に与えます。地上部が枯れて枝がほとんどなくなる品種も、乾き具合のチェックを忘れずに。庭植えの場合は基本的に必要ありません。

### 寒肥

11月～2月の間に、油かすや骨粉などリン酸、カリ分を含む有機質系の肥料を与えます。

### 休眠期の剪定

葉が完全に茶色くなってから行います。芽が動き出す3月頃までに済ませましょう。

#### 弱剪定の系統:

芽がついて充実した枝を残し、枯れ枝を整理する程度に剪定します。

#### 強剪定の系統:

地際から30cm程度で剪定します。

### ★剪定のポイント

弱剪定? 強剪定? わからなくても大丈夫!

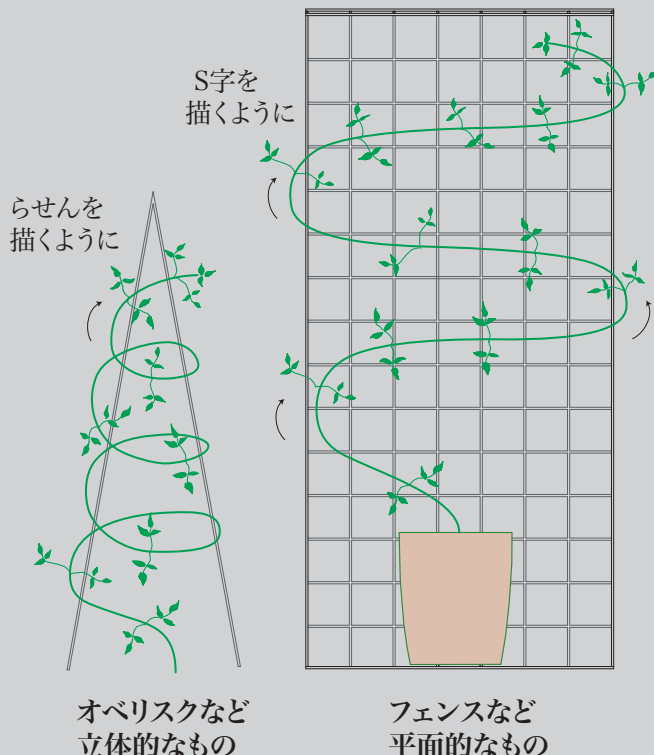
#### ●花後の剪定:

今年伸びた枝の半分の位置で剪定します。

#### ●休眠期の剪定:

枝先から下に向かい芽を確認し、ふくらんだ芽を残すよう、芽が動いていない枝を剪定します。ハサミを入れるのは節と節の間です。

### つるの誘引



オベリスクなど立体的なもの

フェンスなど平面的なもの